

【刊夕】日四十二月二十



五錢郵錢十五月一錢貳金部一價五  
錢十五行一語字三十號五 料書廣  
治 文 崎 川 人 刷 印 入 輯 編 袋 行 發  
五三町橋長町平郡城石縣島瀨  
番〇三六話電 社聞新日每警常 所行發  
社合式株刷印日每警常 所刷印

### 浄土とは何ぞや

真 巖 雪 山

檀林皇右は世にも比ひなき美はしくも亦た尊き御姿でゐらせられたまふたが、その崩御の日「われ逝かば路傍に捨てよ朽ちるまで埋葬するなかれ」と仰せられた、遺命によつて嵯峨野のほとりに遺棄したてまつりしに日を経る毎に身肉腐爛し、蛆虫沸き、悪臭發して世におわせし日の花の芳は今いづこ、見るも無残の御姿を拜して道ゆく人々あまりの勿体なきに涙と共に葬りたくてまつりしといふことと眞偽は知らねど一本に見ゆ。

私たちの落ちつくべき永遠の世界こそは、美醜じよう穢の一べんに囚はれて苦樂の輪廻を繰り返へしたくはない、希はくば永遠の眞永遠の善、永遠の美そのものに安住したい、その願ひに應じてほとの建設し下されてゐるのが安養のじよう土である、その安養のじよう土こそは相對の二端兩へんをはなれたる絕對の世界である、經には千萬言をつらねてその莊嚴の有様が述べられてゐるも、親鸞聖人は唯信鈔の文において「ぶつ性すなはち法性なり、法性法身と申すは色もなく形もまします、然れば心も及ばず、言葉も絶えたり」と仰せられてゐる。

尤も正史には右の記事なく單に「遺令によつて葬を薄くし、山陵を營まず深谷山に葬りたてまつり」とある、惟ふに正史を敷衍したる後人の物語りかと思はれるが、假りに眞であるとするれば貴賤榮衰世間無常のこゝろを世の人に悟らしむべく尊き玉体を犠牲にして如實に教へを垂れたまひしものと長くも拜さるゝことである。

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める

川崎巡回文庫

電話六三〇番 (申込次第規則書進呈)

電話開設 六二五番

右開設致しましたから何卒御利用下さい

辯護士 増田梅藏

平町才地小路一番地

お壽司の御用は、五七五番へ

平三玉壽司

専門 内科一般

住宅診 内科は何でも診療致します

往診 呼吸器病ばかりではありません

平町南町六五(元大和田耳鼻院跡)

川井内科診療所

電話一八一番

醫學士 川井重之

女醫 川井安子

花環 蓮華

造花

町川新平橋

屋本

電話一三六番

■謝恩福引大賣出し

期間 (自十二月二十四日) 五日間 (至十二月二十八日)

店舗改築記念として平素の御愛顧に報い度く奉仕的福引大賣出しいたします

新年多はがき、カレンダー、文字ハガキ、クリスマスカード、かるた、トランプ

各種例年の通り豊富に取揃へました

賞品

特等	ラケット又ハ額縁一ヶ	三本
一等	万年筆一本	十本
二等	ひらかなかるた一組	三十本
三等	布製又ハセルロイド製筆入一ヶ	二百本
四等	極厚ノート一冊	五百本
五等	木製筆入又ハ雑記帳一ヶ	殘全部

總數二千本……一本も空籤なし

▽金壹圓以上御買上の御客様に抽籤券一枚呈上 (書籍雑誌は組合の規定に従ひます)

平町四丁目

マルトモ柴田書店

電話二三四番 五九七番

度量衡、計量器、吸入用酸素、酸素吸入器

關内藥局

電話四〇番

病中に付年末年始欠禮申上候

高岡唯一郎

電話開設

右開設致しましたから何卒御利用下さい

辯護士 増田梅藏

平町才地小路一番地

お壽司の御用は、五七五番へ

平三玉壽司

専門 内科一般

住宅診 内科は何でも診療致します

往診 呼吸器病ばかりではありません

平町南町六五(元大和田耳鼻院跡)

川井内科診療所

電話一八一番

醫學士 川井重之

女醫 川井安子

花環 蓮華

造花

町川新平橋

屋本

電話一三六番

■謝恩福引大賣出し

期間 (自十二月二十四日) 五日間 (至十二月二十八日)

店舗改築記念として平素の御愛顧に報い度く奉仕的福引大賣出しいたします

新年多はがき、カレンダー、文字ハガキ、クリスマスカード、かるた、トランプ

各種例年の通り豊富に取揃へました

賞品

特等	ラケット又ハ額縁一ヶ	三本
一等	万年筆一本	十本
二等	ひらかなかるた一組	三十本
三等	布製又ハセルロイド製筆入一ヶ	二百本
四等	極厚ノート一冊	五百本
五等	木製筆入又ハ雑記帳一ヶ	殘全部

總數二千本……一本も空籤なし

▽金壹圓以上御買上の御客様に抽籤券一枚呈上 (書籍雑誌は組合の規定に従ひます)

平町四丁目

マルトモ柴田書店

電話二三四番 五九七番

# 伏見町長の 社會政策的

## 立案がどうなる

### 此點が頗る興味

#### 平町の緊縮豫算

平町明年度歳出入豫算は目下各課に於て所管内分案作成中で遅くも今二十四日には庶務課に取纏まる筈であるが先づ

**歳入で** は國稅の減額から稅收入十八萬餘圓の一割二分又稅外收入で一般不況から十二萬圓の一割が

減收し少くも三萬餘圓の自然減額を見越してゐる、従つて各課歳出豫算は緊縮一點張りで經費額に於ては全然本年度の路費

**編成の** 方針であるが當是が分配に依つて聊か新生面の活路を見出す様苦心中であつて、伏見町長の社會政策的持論である失業救濟の授産所及び簡易食堂の設置、公益質屋の開設案等が實現されるや否やが興味のある處で他に新規事業は一切

**絶望で** あり各種補助費は何れも一二割減額をみるべく一方町會側では一齊に新企業反對の意思を表明してゐるので總額に於て結局三十萬圓臺に切詰められる模様である

#### 林道開鑿の

#### 調印纏まる

#### 三株線の改修

三株線改修と相俟つて急を要すべき石城郡田村製炭所附近の村道開鑿はこの際飽くまで實現させねばならぬと地元民は香細な資金までして植田營林署を経て東京營林局に促進陳情を續けてゐるは既報したが營林局提出の陳情書も調印が殆どまとまつたので近く委員が出京する事となつた尙右兩問題の促進に關しては隣接東白河郡も林産物に至大の關係あるため最近提携を申込んでゐるのでいよいよ運動は徹底的に行はれる譯である

#### 植田家の慶事

平町材木町植田榮太郎氏令嬢時子嬢は伊坂眞正氏夫妻の媒酌に依り大浦村岡本宮之助氏次男忠義氏を迎へ廿八日華燭の典を擧げると

#### 平局が現金受拂

#### 事務の時間を延長

#### 一般公衆の利便を考へて

#### 歳末の三日間を

平郵便局にては愈々年末切迫し各種の現金受拂事務繁忙を加へ来るべきに依り一般公衆の利便を考へ来る廿九日から卅一日迄の爲替貯金並保險年金事務の取扱事務を左記の如く延長する由(廿九日)午前九時より午後五時まで (卅日)同上 (卅一日)午前九時より午後六時まで

#### 使用人夫は

#### 一切失業者のみ

#### 新川の悪水豫防工事

既報常磐銀行から五千圓を借受け來春早々から着工する平町、飯野、内郷の新川悪水豫防工事使用人夫は一切失業者のみでこれに當て

ケ村に縣補助道路橋梁十三ヶ所を全縣縣費事業の分は一ヶ所であると中村土木監督所長の談である

▲宇多川架橋は道路取擴めに關する用地買入れにつき關係者不承諾の爲め今日に延引せるも來一月には着工の豫定、工費三十六萬圓四間に對して縣負擔二萬二千圓町費七千五百圓で道路取擴め費は五千圓

## 回顧一年

### 磐陽のテニスマンは

### 如何に活躍した乎

(寄稿)

#### 四つ男生

安齊、木田組もよい組合せで其の意氣がピツタリ合つて居るからでもあらうが來のコンピネーションが良く攻撃も守備も完全して居る又石井君のあの元氣一杯なプレー振りは一際立つて目につく、其れにコートに富んだ聲援は試合時に於ける一種のオアシスで石井君が居ないと一種のさびしさを感ずる位、今度は筆を廻らして高月臺上縣下中等體育大會の庭球試合に見事優勝した磐陽庭球部を書いて見る事とする、七八年前一度獲た庭球の月桂冠と再度手中に戻さんものと年毎に努力したあの貴い涙ぐましい骨折も今度といふ今度嬉しくも手中に取り入れたのは吾が河村、長谷川組である、河村は極めて従順な性質で体軀の割合に小心であるが試合となると前衛長谷川に劣らないフアイティンクスピリットの強い男で而も氷の様な冷静な判断力を持つて居るので少しもアガラない、會津喜多方町に於ける縣下の中等大會の準決勝に於てはどの最後の貴いワンポイントから回復して行つて勝つたのは河村であればこそと云はねばならない、長谷川君はよく先輩のコーチに聽いて己の技を磨き最近メキ／＼其の上達を見る様になつた河村君に配するに此の勝氣十分な長谷川君を以つてしたのは組合せとしては長短相補つてよく行つたと云はねばならない、副將條原、鈴木君は共に郡南の産、精々精進して來年の爲めの備へに留意せられよ、それから揚土臺上將來の覇を胸に畫いて最近進進して來た平商業の庭球部の存在は見逃かす事が出来ない、同部は校長吉田氏の肝入で福島高商出身の大澤教諭が部長として就任し平俱樂部の吉田君をコーチとして夏中猛練習した効果は頗る顯著で其の大將組はよく打ちよく守り近き將來に於て磐陽庭球界のスターたる素質ある事は筆著が折紙一けて置く、入山炭

## 吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八番

萬病靈藥... 痛みならスグ取れる

### 藥草灸

着物の上から据えるホカ／＼と温かくて肌をこがさぬヤイト不思議にさします。

詳細説明書御申込次第 無代進呈

大形	一組	四十回分	壹圓六十錢
中形	一組	十七回分	前金八十錢
小形	一組	八回分	前金四十錢

(代引謝絶) 東京神田今川路振替東京五九三三四五 日本佛教新聞社

### 進呈

佛教書籍佛畫佛像佛具目錄

本誌名記入御申込次第無代送呈 (創刊十年) 日本佛教新聞社 東京神田今川路

### 自宅筆生

募集前金材料費等 絕對不要

遠近男女 副業内職 東京神田 日本佛教新聞社

# 縁の下から

## バック破薬発見

### 脱税の嫌疑で

#### 家宅を捜索の結果

石城郡永戸村合戸草野幸一（三）は織物税の脱税をはかつた嫌疑があるので二十二日平税務署では平署員立合の上家宅捜索を行ったがその際幸一の縁下から鑛山火薬その他爆薬物を多量に発見したので事件を重大視し犯人を本署に引致の上嚴重取調べ中である

### 生活戦線へと

## 目ざす女性

### 平町に激増

生活戦線へと目ざめた女性の激増から平町平産婆看護婦学校、警城産婆看護婦学校の入学志望者は昨今めつきりと多くなつた、殊に女学校卒業生が非常に増加しまた女学校を中途で退學し入學するものも数多くなる

## 少年消防隊の

### 演習や分列式

平町第一小學校の少年消防隊の演習は既報の如く二十三日午前十時から同校でいにおいて總裁會我第一校長、平伏見町長、櫻村署長、井上組頭、山崎錦村組頭外關係各町村長、小學校長二十餘名出席、總裁の辭によ

なつたが醸出金は一圓以上で發起人は左記の諸氏である

中島千藏、山崎與三郎、伏見彦衛、武田清次郎、青沼鋒太郎、井上茂作、酒井國三郎、野崎滿藏、島田滿

## 落磐で惨死

### 磐崎戸部炭礦

石城郡磐崎村戸部炭礦夫柘木縣生れ伊藤新一（三）は廿四日午前六時頃礦内に於て作業中落盤の爲め頭部や肩脚部を碎かれ死亡し七海部長檢視した

## 記念品贈呈

### 時節柄送別會

平警察署長を退職した荒井市太郎氏の爲め送別會を催すべきの時節柄是れを廢して記念品を贈呈する事と

## 便利と習慣は

### 手を握らない

#### 毛嫌ひされる官製葉書 賀状の種々相

どつと配達される賀状の山から自分のだけは特に目立つやうにと最近都會の人は意匠や紙に凝るやうになつたことは確かだ  
経費節減 これはで生れた黄色いハガキが最初の新年を迎へて年頭早々色紙ではと毛嫌ひされてゐる向が隠れてゐるらしい、折角漂白代を浮した新ハガキもこの書入時にしくじれば大變なことになるわけで、郵

感じを興へるといつて嫌ふ人が多いといふから便利と習慣はなか／＼手を握らないと見える

## 坑内の火事

### 以前に百卅名の

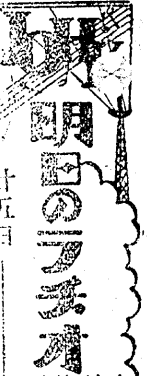
石城郡内郷村磐城炭礦町田堅坑入口から百五十尺の個處から廿二日午後十時ごろ發火羽目板を焼失同十一時鎮火したが同所は去る昭和二年の大火で百卅名の坑夫が焼死した場所であるため

## 大嶺辯護士が

### 尺八の初舞臺

#### 七才の可愛い娘チャンと 共に揃つて

平町に於ける華曲界に最も重きを爲して居る大町遠藤佐喜野女史社中野喜久會では  
來春五日 午後一時からマルトモビルにて彈初温習會を催し色とり／＼に各種の琴曲が奏せられる筈で目下プログラムの編成中であるが出演者の内に尺八は平斯界の名手谷口、小野、飯高其他の諸氏に交つて辯護士の大嶺康氏の名が見え辯護士の 大嶺氏に聞けば初舞臺であるとの事だが今年七才の可愛い娘チャンが琴を初めたのにひかされてブウ／＼やり出したのが病みつきとなり今では



明日の天気

今晩も明日も北西の風晴れたり曇つたりのお天気

後六、〇〇 子供の時間  
後六、三〇 通俗財話「來年は是非」谷孫六  
後七、〇〇 ニューズ  
後七、二五 新講談「六十五年前の今頃」伊藤菊遊  
後八、二五 室内樂「ピアノ三重奏」遠山トリオ  
後九、〇〇 映画物語「海の巨人」金子晴洋、伴奏指揮土宮勝  
後三、四〇 氣象通報

前九、〇〇 氣象通報  
前九、三〇 子供の時間お話し村理助  
前二〇、〇〇 記念講演「大正天皇祭に際して」陸軍中將堀内文次郎  
正午 時報 氣象通報  
後〇、三〇 全國ニュース  
後〇、四〇 連續講談「小堀騒動」第四席桃川若燕

後一、一〇 琵琶「大高源吾」寺尾旭豊  
後一、四〇 放送舞臺劇「又意外」青木千八郎其他  
後二、三〇 長唄「二つ巴唄」杵屋勝美七其他  
後三、〇〇 映畫物語「海の巨人」金子晴洋、伴奏指揮土宮勝  
後三、四〇 氣象通報

## 江戸前料理 合巻

江戸 天ふら を始めました  
趣味の 天井  
ゼヒ一度御試食下さい  
出前迅速 錦 水  
田町末廣東隣り（電話四二二番）

## 毛糸

ハシモトヤ  
優等百合印毛糸 高級霜降毛糸  
優等中細毛糸 優等極細毛糸  
スコッチ毛糸 英國製毛糸  
平町田町 ハシモトヤ糸店

## 耳鼻咽喉科専門

### 氣管食道科

平南町（舊診療所向）電話一七〇番

## 大和田醫院

## 西山

旅館 御料理 電話二〇番

